

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	道路維持修繕用等原材料費				
所管課	181	建設課	(建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	市道1,687路線、総延長747kmの維持管理に係る総務を実施し、市民の生活環境の改善、安全性、利便性の向上を図る。				区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	2	道路橋梁費
					目	2	道路維持費
細目	1	道路維持費					
根拠条例等	「道路法第42条」(道路の維持又は修繕)						
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備						
H28年度事業の概要	市道1,687路線、総延長747kmの維持管理を行い道路利用者の安全性及び利便性の向上を図る。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	市道1,687路線、総延長747kmの維持管理に係る総務を実施し、市民の生活環境の改善、安全性、利便性の向上を図る。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源		7,300
					H28予算額		7,300
					H27当初予算額		6,897
H27現計予算額		6,897					
増減額		403					
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	8,904	897					
従事職員数【人工】	0.40	0.40					
人件費(人工×8,000千円)	3,200	3,200					
総事業費:人件費含む(千円)	12,104	4,097					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	箇所数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績(見込)	113	単位	箇所	97	単位	箇所	
単位当たりコスト (円)	107,115		42,237				
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施						

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	市道踏切改良工事負担金					
所管課	181	建設課	(建設部)					
事業の目的 市道と近鉄大阪線が交差する踏切について、老朽化に伴い通行に支障を及ぼす恐れがあるため、踏切内の改良を行い、通行者の安全確保及び利便性の向上を図る。					宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	7	土木費	
					項	2	道路橋梁費	
					目	2	道路維持費	
細目	1	道路維持費						
根拠条例等	「道路法第42条」(道路の維持又は修繕)							
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備							
H28年度事業の概要	市道長峯7号線(榛原第3号踏切) 幅員W=4.2m 経年36年 市道山辺三赤人橋線(榛原第8号踏切) 幅員W=4.8m 経年29年 負担金=工事費の1/2 17,600千円×1/2=8,800千円				財源の内訳 (単位:千円)			
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し) 市道と近鉄大阪線が交差する踏切について、老朽化に伴い通行に支障を及ぼす恐れがあるため、踏切内の改良を行い、通行者の安全確保及び利便性の向上を図る。				分担金 使用料 国費 県費 市債 8,300 その他 一般財源 500 H28予算額 8,800 H27当初予算額 H27現計予算額 増減額 8,800			
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)					合併特例債 8,300千円			
従事職員数【人工】								
人件費(人工×8,000千円)								
総事業費:人件費含む(千円)								
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()								
活動指標名								
活動指標の算式								
活動指標の実績(見込)			単位		単位	備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施		
単位当たりコスト (円)								

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	道路維持事業 道路舗装維持補修工事				
所管課	181	建設課	(建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	市道1,687路線、総延長747kmのうち、生活と密着した道路の維持補修を行い、道路利用者の安全性の確保及び利便性の向上を図る。				区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	2	道路橋梁費
					目	2	道路維持費
細目	1	道路維持費					
根拠条例等	「道路法第42条」(道路の維持又は修繕)						
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備						
H28年度事業の概要	市道路線数 1,687路線 総延長 747km 老朽化に伴う舗装修繕、側溝補修、街路灯修繕、草刈工事他 大宇陀地区 菟田野地区 榛原地区 室生地区				財源の内訳 (単位:千円)		
	市道1,687路線、総延長747kmのうち、生活と密着した道路の維持補修を行い、道路利用者の安全性の確保及び利便性の向上を図る。				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料		
					国費		
					県費		
					市債	20,000	
					その他	3,000	
					一般財源	17,500	
					H28予算額	40,500	
				H27 当初予算額	40,500		
				H27 現計予算額	40,500		
				増減額			
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		56,612	40,500		過疎対策事業債 20,000千円 地域づくり推進基金繰入金 3,000千円		
従事職員数【人工】		0.40	0.40				
人件費(人工×8,000千円)		3,200	3,200				
総事業費:人件費含む(千円)		59,812	43,700				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名		整備延長					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績(見込)		2,154	単位	m	1,500	単位 m	
単位当たりコスト (円)		27,768		29,133			
備考		<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 道路ストック総点検				
所管課	181	建設課	(建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	市道橋梁の点検を行い道路の安全性の確保及び施設の長寿命化並びに維持経費の平準化を図る。				区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	2	道路橋梁費
					目	2	道路維持費
細目	1	道路維持費					
根拠条例等	「道路法第42条」(道路の維持又は修繕)						
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備						
H28年度事業の概要	社会資本整備総合交付金事業 橋梁点検 全橋梁 553基 H28年度 橋梁点検 150基 委託料 40,100千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	道路の安全性の確保及び施設の長寿命化並びに維持経費の平準化を図る。				使用料		
					国費		26,000
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源		14,100
					H28予算額		40,100
					H27当初予算額		21,100
H27現計予算額		21,100					
増減額		19,000					
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	26,000	21,000		社会資本整備総合交付金 26,000千円			
従事職員数【人工】	0.30	0.30					
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400					
総事業費:人件費含む(千円)	28,400	23,400					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	進捗率						
活動指標の算式	点検済橋梁/総橋梁						
活動指標の実績(見込)	25.6	単位	%	25.9	単位	%	
単位当たりコスト (円)	1,109,375		903,475				
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (13)道路ストック総点検事業						

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	交通安全施設整備事業							
所管課	181	建設課	(建設部)							
事業の目的 指導1,687路線、総延長747kmのうち、特に生活に密着した道路の防護柵、カーブミラーや区画線等の維持補修を行うとともに、通学路の危険箇所の改善を行い、児童、生徒の安全確保を図る。					宇陀市一般会計予算					
					区分	No.	区分名			
					款	7	土木費			
					項	2	道路橋梁費			
目	2	道路維持費								
細目	3	交通安全施設整備費								
根拠条例等	「道路法第42条」(道路の維持又は修繕)									
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備									
H28年度事業の概要	道路利用者の安全を確保するため、カーブミラー、ガードレール、区画線の新設、修繕を行う。 交通安全施設修繕 400千円 交通安全施設新設 5,000千円 転落防止柵、ガードレール、カーブミラー他 3,100千円				財源の内訳 (単位:千円)					
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	市道(通学路)の危険箇所の改善を行い、市民の生活環境の改善等を向上し、児童生徒の安全確保を図る。				分担金					
					使用料					
					国費	1,950				
					県費					
					市債					
					その他					
					一般財源	6,550				
					H28予算額	8,500				
					H27 当初予算額	9,100				
					H27 現計予算額	9,100				
					増減額	▲ 600				
事業のコスト			平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)			8,785	9,100						
従事職員数【人工】			0.10	0.10						
人件費(人工×8,000千円)			800	800						
総事業費:人件費含む(千円)			9,585	9,900						
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()										
活動指標名			整備箇所数			備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (10)防犯灯、交通安全施設の整備				
活動指標の算式			-							
活動指標の実績(見込)			41	単位	箇所			37	単位	箇所
単位当たりコスト (円)			233,780		267,568					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 市道平井比布線				
所管課	181	建設課	(建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	当路線は、県道榛原菟田野御杖線と県道内牧菟田野線を結び、市内の市道として重要な役割を果たしているが、路面の老朽化により通行に支障を来しているため、舗装修繕を行い、道路利用者の安全性を確保し利便性の向上を図る。				区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	2	道路橋梁費
					目	3	道路新設改良費
細目	11	社会資本整備総合交付金事業(平井比布線)					
根拠条例等	「道路法第42条」(道路の維持又は修繕)						
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備						
H28年度事業の概要	社会資本整備総合交付金事業 全体計画 H23~H28年度 全体事業費 105,000千円 全体延長 L=3,000m H28年度 L=500m W=6m 舗装修繕 工事費 22,100千円 事務費 660千円 合計 22,760千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	当路線は、県道榛原菟田野御杖線と県道内牧菟田野線を結び、市内の市道として重要な役割を果たしているが、路面の老朽化により通行に支障を来しているため、舗装修繕を行い、道路利用者の安全性を確保し利便性の向上を図る。				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料		
					国費	14,300	
					県費		
					市債	8,400	
					その他		
					一般財源	60	
					H28予算額	22,760	
					H27 当初予算額	41,300	
				H27 現計予算額	41,300		
				増減額	▲ 18,540		
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	18,000	20,000		社会資本整備総合交付金 14,300千円 合併特例債 8,400千円			
従事職員数【人工】	0.50	0.50					
人件費(人工×8,000千円)	4,000	4,000					
総事業費:人件費含む(千円)	22,000	24,000					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	整備率						
活動指標の算式	整備済延長/全体延長						
活動指標の実績(見込)	61.7	単位	%	76.7	単位	%	
単位当たりコスト (円)	356,564		312,907				
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト 【生活基盤の整備】 (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施						

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 市道小倉室生線
------	----	-----	------------------------------

所管課	181	建設課	(建設部)	宇陀市一般会計予算
-----	-----	-----	-------	-----------

事業の目的	市道小倉室生線は、国道25号(名阪国道)から国道165号を経由し、国宝である室生寺を結ぶ主要な観光アクセス道路で、四季を問わず県内外から多くの来訪者がある。しかし、近年の通行車両の大型化や老朽化による舗装面の悪化が進行しているため、舗装修繕を行い利用者の安全性の確保及び利便性の向上を図る。			区分	No.	区分名
	款	7	土木費			
	項	2	道路橋梁費			
	目	3	道路新設改良費			
	細目	13	社会資本整備総合交付金事業(小倉室生線)			

根拠条例等	「道路法第42条」(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備

H28年度事業の概要	社会資本整備総合交付金事業 全体計画 H22~H28年度 全体事業費 258,500千円 全体延長 L=5,330m H28年度 L=900m W=7m 舗装修繕 工事費 40,100千円 事務費 1,200千円 合計 41,300千円	財源の内訳 (単位:千円)	
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	当路線は宇陀市室生~三本松地内の主要路線であり、安全性及び利便性が向上し、観光客が増加し、地域の活性化が図れる。	分担金
		使用料	
		国費	26,000
		県費	
		市債	16,100
		その他	
		一般財源	▲ 800
		H28予算額	41,300
	H27 当初予算額	41,300	
	H27 現計予算額	41,300	
	増減額		

事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	22,554	20,000
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費(人工×8,000千円)	4,000	4,000
総事業費:人件費含む(千円)	26,554	24,000

特定財源の状況	
社会資本整備総合交付金 26,000千円 過疎対策事業債 16,100千円	

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()					
活動指標名	整備率				
活動指標の算式	整備済延長/全体延長				
活動指標の実績(見込)	60.5	単位	%	68.9	単位 %
単位当たりコスト (円)	438,909		348,331		

備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施
----	---

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 市道春日野依線
------	----	-----	------------------------------

所管課	181	建設課	(建設部)	宇陀市一般会計予算
-----	-----	-----	-------	-----------

事業の目的	当路線は、宇陀市大宇陀の南北を結ぶ重要な生活道路であり、またうだ・アニマルパークへのアクセス道路であるが、通行車両の大型化や経年により舗装面が老朽化しているため、舗装修繕を行い、利用者の安全性の確保及び利便性の向上を図る。			区分	No.	区分名
	款	7	土木費	項	2	道路橋梁費
	目	3	道路新設改良費	細目	16	社会資本整備総合交付金事業(春日野依線)

根拠条例等	「道路法第42条」(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備

H28年度事業の概要	社会資本整備総合交付金事業 全体計画 H25~H29年度 全体事業費 82,000千円 全体延長 L=1,600m H28年度 L=800m W=6.5m 舗装修繕 工事費 30,100千円 事務費 900千円 合計 31,000千円	財源の内訳 (単位:千円)	
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	当路線は大宇陀地域の南北を結ぶ主要な生活道路であり、安全性及び利便性が向上し、観光客が増加し、地域の活性化が図れる。	分担金
使用料			
国費		19,500	
県費			
市債		11,400	
その他			
一般財源		100	
H28予算額		31,000	
H27当初予算額	31,000		
H27現計予算額	31,000		
増減額			

事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	18,000	4,450
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費(人工×8,000千円)	4,000	4,000
総事業費:人件費含む(千円)	22,000	8,450

特定財源の状況	
社会資本整備総合交付金	19,500千円
合併特例債	11,400千円

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()						
活動指標名	整備率					
活動指標の算式	整備済延長/全体延長					
活動指標の実績(見込)	49.7	単位	%	68.5	単位	%
単位当たりコスト (円)	442,656		123,358			

備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施
----	---

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 市道春日藤井線
------	----	-----	------------------------------

所管課	181	建設課	(建設部)	宇陀市一般会計予算
-----	-----	-----	-------	-----------

事業の目的	当路線は、地域の重要な生活道路であるが、幅員が狭く、一部大型車の通行に支障を来している。またうだ・アニマルパークへの南側からのアクセス道路として機能を充実することにより、観光客の集客、また交通渋滞の解消等通行の安全確保及び利便性の向上により地域の活性化を図る。			区分	No.	区分名
	款	7	土木費	項	2	道路橋梁費
	目	3	道路新設改良費	細目	17	社会資本整備総合交付金事業(春日小附線他)

根拠条例等	「道路法第42条」(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備

H28年度事業の概要	社会資本整備総合交付金事業 全体計画 H25~H29年度 全体事業費 129,500千円 全体延長 L=135m H28年度 L=80m W=7m 舗装修繕 工事費 14,500千円	財源の内訳 (単位:千円)	
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	当路線は地域の生活道路及び観光客のアクセス道路として重要な役割を担っており、通行者の安全性の確保、利便性が向上し、地域の活性化に寄与する。	分担金
使用料			
国費		9,100	
県費			
市債			
その他		4,900	
一般財源		500	
H28予算額		14,500	
H27当初予算額	33,988		
H27現計予算額	33,988		
増減額	▲ 19,488		

事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	9,486	65,300
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費(人工×8,000千円)	4,000	4,000
総事業費:人件費含む(千円)	13,486	69,300

特定財源の状況	
社会資本整備総合交付金	9,100千円
地域づくり推進基金繰入金	2,450千円
雑入	2,450千円

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()						
活動指標名	進捗率					
活動指標の算式	当該年度までの事業費/全体事業費					
活動指標の実績(見込)	10.0	単位	%	64	単位	%
単位当たりコスト (円)	1,348,600		1,082,813			

備考	<予算案のポイント>
	【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 市道春日小附線
------	----	-----	------------------------------

所管課	181	建設課	(建設部)	宇陀市一般会計予算
-----	-----	-----	-------	-----------

事業の目的	当路線は、地域の重要な生活道路であるが、幅員が狭く、一部大型車の通行に支障を来している。またうだ・アニマルパークへの南側からのアクセス道路として機能を充実することにより、観光客の集客、また交通渋滞の解消等通行の安全確保及び利便性の向上により地域の活性化を図る。			区分	No.	区分名
	款	7	土木費	項	2	道路橋梁費
	目	3	道路新設改良費	細目	17	社会資本整備総合交付金事業(春日小附線他)

根拠条例等	「道路法第42条」(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備

H28年度事業の概要	社会資本整備総合交付金事業 全体計画 H25~H29年度 全体事業費 50,500千円 全体延長 L=205m H28年度 L=80m W=7m 舗装修繕 工事費 14,500千円 用地費 963千円 補償費 2,173千円 事務費 365千円 合計 18,001千円	財源の内訳 (単位:千円)	
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	当路線は地域の生活道路及び観光客のアクセス道路として重要な役割を担っており、通行者の安全性の確保、利便性が向上し、地域の活性化に寄与する。	分担金
		使用料	
		国費	11,138
		県費	
		市債	
		その他	5,998
		一般財源	865
		H28予算額	18,001
	H27 当初予算額	14,538	
	H27 現計予算額	14,538	
	増減額	3,463	

事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	7,763	14,538
従事職員数【人工】	0.50	0.50
人件費(人工×8,000千円)	4,000	4,000
総事業費:人件費含む(千円)	11,763	18,538

特定財源の状況	
社会資本整備総合交付金	11,138千円
地域づくり推進基金繰入金	2,999千円
雑入	2,999千円

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()					
活動指標名	進捗率				
活動指標の算式	当該年度までの事業費/全体事業費				
活動指標の実績(見込)	23.0	単位	%	60	単位 %
単位当たりコスト (円)	511,435		308,967		

備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト 【生活基盤の整備】 (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施
----	---

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 市道奥山鳴谷線			
所管課	181	建設課	(建設部)			
事業の目的 当路線は、県道都祁名張線と幹線市道小倉室生線を結び、地域の生活道並びに観光客のアクセス道路となっているが、老朽化により舗装面が傷み通行に支障を来しているため、舗装修繕を行い通行者の安全確保及び利便性の向上を図る。			宇陀市一般会計予算			
			区分	No.	区分名	
			款	7	土木費	
			項	2	道路橋梁費	
			目	3	道路新設改良費	
細目	18	社会資本整備総合交付金事業(奥山鳴谷線)				
根拠条例等	「道路法第42条」(道路の維持又は修繕)					
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備					
H28年度事業の概要	社会資本整備総合交付金事業 全体計画 H27~H31年度 全体事業費 80,000千円 全体延長 L=2,300m H28年度 L=800m W=6m 舗装修繕 工事費 30,100千円 事務費 900千円 合計 31,000千円			財源の内訳 (単位:千円)		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	当路線は地域の生活道路及び観光客のアクセス道路として重要な役割を担っており、通行者の安全性の確保、利便性が向上し、地域の活性化に寄与する。			分担金		
				使用料		
				国費	19,500	
				県費		
				市債	12,100	
				その他		
				一般財源	▲ 600	
				H28予算額	31,000	
				H27当初予算額	10,400	
				H27現計予算額	10,400	
増減額	20,600					
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		10,400	社会資本整備総合交付金 19,500千円 辺地対策事業債 12,100千円			
従事職員数【人工】		0.20				
人件費(人工×8,000千円)		1,600				
総事業費:人件費含む(千円)		12,000				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()						
活動指標名	進捗率					
活動指標の算式	当該年度までの事業費/全体事業費					
活動指標の実績(見込)		単位	15	単位 %		
単位当たりコスト (円)			800,000			
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 市道大東黒木線
------	----	-----	------------------------------

所管課	181	建設課	(建設部)	宇陀市一般会計予算
-----	-----	-----	-------	-----------

事業の目的	当路線は、国道370号からのアクセスにより、地域の生活道路として重要な役割を担っているが、経年により舗装面が老朽化し、通行に支障を来しているため、舗装修繕を行い、通行者の安全確保及び利便性の向上を図る。			区分	No.	区分名
	款	7	土木費	項	2	道路橋梁費
	目	3	道路新設改良費	細目	19	社会資本整備総合交付金事業(大東黒木線)

根拠条例等	「道路法第42条」(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備

H28年度事業の概要	社会資本整備総合交付金事業 全体計画 H27~H29年度 全体事業費 48,700千円 全体延長 L=1,100m H28年度 L=800m W=7m 舗装修繕 工事費 30,100千円 事務費 900千円 合計 31,000千円	財源の内訳 (単位:千円)	
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	当路線は地域の生活道路として重要な役割を担っているため、通行者の安全性を確保、利便性を向上させ、地域の活性化に寄与する。	分担金
		使用料	
		国費	19,500
		県費	
		市債	11,400
		その他	
		一般財源	100
		H28予算額	31,000
	H27 当初予算額	5,250	
	H27 現計予算額	5,250	
	増減額	25,750	

事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)		5,250
従事職員数【人工】		0.20
人件費(人工×8,000千円)		1,600
総事業費:人件費含む(千円)		6,850

特定財源の状況	
社会資本整備総合交付金	19,500千円
合併特例債	11,400千円

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()			
活動指標名	進捗率		
活動指標の算式	当該年度までの事業費/全体事業費		
活動指標の実績(見込)	単位	14	単位 %
単位当たりコスト (円)	489,286		

備考	<予算案のポイント>
	【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	社会資本整備総合交付金事業 駐車場整備事業2工区
------	----	-----	---------------------------------

所管課	181	建設課	(建設部)	宇陀市一般会計予算
-----	-----	-----	-------	-----------

事業の目的	うだ・アニマルパークは「人と動物のふれあいを通じて動物を学び動物から学ぶ」の基本理念のもと、様々な動物とのふれあい体験ができるイベントや「命の学習」ができる施設として整備された。開園以来子ども連れファミリーや県内外からの遠足の地として人気を呼び利用者が年々増加傾向であり、市の重要な観光資源となっている。また宇陀松山重伝建地区への来訪者の増加によりゴールデンウィークなどの行楽期には、周辺市道は交通渋滞を招き地域住民の通行の妨げや地域の交通環境に支障を来しているため、防災面や観光面等において機能の充実を図るため新たな駐車場を確保するもの。			区分	No.	区分名
	款	7	土木費			
	項	2	道路橋梁費			
	目	3	道路新設改良費			
	細目	28	社会資本整備総合交付金事業(駐車場整備2工区)			

根拠条例等	「道路法第42条」(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備

H28年度事業の概要	社会資本整備総合交付金事業 全体計画 H26~H29年度 全体事業費 82,750千円 駐車台数 69台 H28年度 造成工事 工事費 20,000千円	財源の内訳 (単位:千円)	
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	駐車場を確保することにより、地域の交通環境が改善され、またうだ・アニマルパークや宇陀松山重伝建地区への来訪者の増加に対する受入れが可能になり、更には緊急時の避難所等の役割を果たす。	分担金
使用料			
国費		6,500	
県費			
市債			
その他		13,500	
一般財源			
H28予算額		20,000	
H27 当初予算額	35,100		
H27 現計予算額	35,100		
増減額	▲ 15,100		

事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況
決算額又は決算見込額(千円)		48,250	社会資本整備総合交付金 6,500千円 地域づくり推進基金繰入金 6,750千円 雑入 6,750千円
従事職員数【人工】		0.50	
人件費(人工×8,000千円)		4,000	
総事業費:人件費含む(千円)		52,250	

【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()			
活動指標名	進捗率		
活動指標の算式	当該年度まで事業費/全体事業費		
活動指標の実績(見込)	単位	58	単位 %
単位当たりコスト (円)		900,862	
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト 【生活基盤の整備】 (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施		

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	市有地整備事業	大宇陀下竹春日
------	----	-----	---------	---------

所管課	181	建設課	(建設部)	宇陀市一般会計予算
-----	-----	-----	-------	-----------

事業の目的	当市有地は、近接するうだ・アニマルパークの臨時駐車場及び大宇陀松山重伝建地区の来訪者の駐車場として利用されているが、未整備部分があり有効活用がなされていないため、行楽期には周辺市道で交通渋滞を招き地域の生活環境に影響を及ぼしているため来訪者の需要に即した整備を行うもの。			区分	No.	区分名
	款	7	土木費			
	項	2	道路橋梁費			
	目	3	道路新設改良費			
	細目	29	観光駐車場整備事業			

根拠条例等	「道路法第42条」(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備

H28年度事業の概要	全体計画 平成26年度～平成29年度 全体事業費 35,000千円 全体面積 7,150㎡ 駐車台数 117台 平成28年度 工事費 10,000千円 用地費 587千円 委託料 500千円 合計 11,087千円	財源の内訳 (単位:千円)	
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し) 駐車場整備により、地域の交通環境が改善され、またうだ・アニマルパークや宇陀松山重伝建地区への来訪者に対する受け入れが可能となり、更には地域の緊急時の避難所等の役割を果たす。	分担金 使用料 国費 県費 市債 10,500 その他 一般財源 587 H28予算額 11,087 H27当初予算額 10,000 H27現計予算額 10,000 増減額 1,087	

事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況	
決算額又は決算見込額(千円)	6,700	10,000	合併特例債 10,500千円	
従事職員数【人工】	0.10	0.10		
人件費(人工×8,000千円)	800	800		
総事業費:人件費含む(千円)	7,500	10,800		
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()				
活動指標名	進捗率			
活動指標の算式	当該年度までの事業費/全体事業費			
活動指標の実績(見込)	19	単位 %	48	単位 %
単位当たりコスト (円)	394,737		225,000	
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施			

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	社会資本整備総合交付金事業 市道玉立2号線
------	----	-----	------------------------------

所管課	181	建設課	(建設部)	宇陀市一般会計予算
-----	-----	-----	-------	-----------

事業の目的	当路線は、国道370号と国道165号を結ぶ主要幹線道路として重要な役割を担っているが、経年により舗装面が老朽化し、通行に支障を来しているため、舗装修繕を行い、通行者の安全確保及び利便性の向上を図る。			区分	No.	区分名
	款	7	土木費			
	項	2	道路橋梁費			
	目	3	道路新設改良費			
	細目	30	社会資本整備総合交付金事業(玉立2号線)			

根拠条例等	「道路法第42条」(道路の維持又は修繕)
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備

H28年度事業の概要	社会資本整備総合交付金事業 全体計画 H28~H31年度 全体事業費 80,000千円 全体延長 L=2,500m H28年度 L=1,000m W=7m 調査・設計 委託料 10,100千円 事務費 300千円 合計 10,400千円	財源の内訳 (単位:千円)	
	事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	当路線は、国道370号と国道165号を結ぶ主要幹線道路として重要な役割を担っているが、経年により舗装面が老朽化し、通行に支障を来しているため、舗装修繕を行い、通行者の安全確保及び利便性の向上を図る。	分担金
		使用料	
		国費	6,500
		県費	
		市債	3,400
		その他	
		一般財源	500
		H28予算額	10,400
	H27 当初予算額		
	H27 現計予算額		
	増減額	10,400	

事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況	
決算額又は決算見込額(千円)			社会資本整備総合交付金 6,500千円 合併特例債 3,400千円	
従事職員数【人工】				
人件費(人工×8,000千円)				
総事業費:人件費含む(千円)				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()				
活動指標名				
活動指標の算式				
活動指標の実績(見込)		単位		単位
単位当たりコスト (円)				
			備考	
			<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施	

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	急傾斜地崩壊対策事業負担金				
所管課	181	建設課	(建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	奈良県土砂災害対策基本方針に基づき代替性のない避難所や自力で避難が困難な方が24時間入居している災害時要援護者施設関連を守る対策を優先的に実施。				区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	3	河川費
					目	1	河川総務費
細目	1	本庁河川総務費					
根拠条例等	奈良県土砂災害対策基本方針						
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現						
H28年度事業の概要	代替性のない避難所を優先的に実施 榛原萩原地区 室生向湊地区				財源の内訳 (単位:千円)		
	災害時の避難施設を県施工により対策工事を行い、地域住民の安全を確保する。				分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					使用料		
					国費		
					県費		
					市債	3,500	
					その他		
					一般財源		
					H28予算額	3,500	
					H27 当初予算額	5,723	
				H27 現計予算額	5,723		
				増減額	▲ 2,223		
事業のコスト		平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)		8,766	5,723		自然災害防止事業債 3,500千円		
従事職員数【人工】		0.40	0.40				
人件費(人工×8,000千円)		3,200	3,200				
総事業費:人件費含む(千円)		11,966	8,923				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名		箇所数					
活動指標の算式		-					
活動指標の実績(見込)		4	単位	箇所	4	単位	箇所
単位当たりコスト (円)		2,991,500		2,230,750		備考	
		<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (14)急傾斜地崩壊対策事業					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	都市計画道路見直し業務				
所管課	161	まちづくり推進課 (建設部)			宇陀市一般会計予算		
事業の目的	これまでの都市計画道路は、人口増加、市街地の拡大を前提として計画してきた。しかしながら今後は、人口減少・高齢社会の到来など、社会情勢が変化していることから、未着手の都市計画道路について検証する。				区分 No.	区分名	
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	1	都市計画総務費
細目	1	本庁都市計画総務費					
根拠条例等	平成22年「奈良県都市計画道路の見直しガイドライン」						
総合計画	後期基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備						
H28年度事業の概要	都市計画道路(県決定4路線と市決定8路線) 都市計画道路の見直し方針案の策定 個々の路線について存続、廃止の検討 都市計画道路見直し案の作成 検討委員会運営 パブリックコメントの実施 都市計画審議会支援(県・市)				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	人口減少や自動車交通量が将来的には減少する等、社会情勢が計画当時と比べ大きく変化していることから、計画決定から長期間未着手となっている都市計画道路について、その必要性を検討し、都市計画法第53条による建築物の制限を解除する。 県決定路線については、奈良県の都市計画審議会において諮られる。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	8,000	
					H28予算額	8,000	
					H27当初予算額		
H27現計予算額							
増減額	8,000						
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)							
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
【活動指標の根拠】総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名					備考		
活動指標の算式							
活動指標の実績(見込)		単位		単位			
単位当たりコスト (円)							
					<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施		

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	既存木造住宅耐震支援事業			
所管課	161	まちづくり推進課 (建設部)	宇陀市一般会計予算			
事業の目的	大規模地震発生時に被害が大きくなると予想される旧基準建築物について、耐震診断の実施により耐震性を把握し、耐震改修を行うことで既存木造住宅の安全性向上を推進する。		区分	No.	区分名	
			款	7	土木費	
			項	4	都市計画費	
			目	1	都市計画総務費	
細目	1	本庁都市計画総務費				
根拠条例等	建築物の耐震改修の促進に関する法律・宇陀市耐震改修促進計画					
総合計画	基本計画 第3章 第5節 安全・安心な暮らしの実現					
H28年度事業の概要	・既存木造住宅耐震改修支援事業 2戸×500千円=1,000千円 ・既存木造住宅耐震診断事業 10戸×50千円=500千円		財源の内訳 (単位:千円)			
			分担金			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	地震により耐震性が不十分な建築物の被害が軽減されることにより、仮設住宅や瓦礫の減少が図られ、早期の復旧・復興に寄与する。また、避難路が確保されることなどから避難、救命、消火等の活動が速やかに行えることで、災害の拡大を防ぐことが出来、人的被害・物的被害を軽減できる。		使用料			
			国費	750		
			県費	375		
			市債			
			その他			
			一般財源	375		
			H28予算額	1,500		
			H27当初予算額	1,950		
H27現計予算額	1,950					
増減額	▲ 450					
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	957	360	住宅建築物耐震改修等事業補助金 750千円 奈良県既存木造住宅耐震診断支援事業補助金 375千円			
従事職員数【人工】	0.10	0.10				
人件費(人工×8,000千円)	800	800				
総事業費:人件費含む(千円)	1,757	1,160				
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()						
活動指標名	診断・改修実施戸数					
活動指標の算式	-					
活動指標の実績(見込)	12	単位	戸	8	単位	戸
単位当たりコスト (円)	146,417		145,000			
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (12)既存木造住宅耐震診断・改修支援事業					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	公園健康遊具設置事業				
所管課	163	公園課	(建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	ウエルネスシティ推進事業の一環として、都市公園等に健康遊具を設置することにより、市民が散歩の途中や公園でのラジオ体操活動の前後に、気軽に軽い運動が出来ることで健康寿命を延ばす。				区分 No.	区分名	
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	2	公園費
細目	1	公園費					
根拠条例等	都市公園法に基づき宇陀市公園条例						
総合計画	基本計画 第2章 第1節 健康づくりの推進						
H28年度事業の概要	公園への健康遊具の設置 ・榛原あかね公園 1,700千円 ぶら下がり、腹筋ベンチ、パラレルバーの3種(予定)				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	地域住民の健康に対する意識向上効果と共に、心身の体力維持が期待できる。併せて、老朽化した公園遊具の代替として設置することにより、来園者の安心・安全に寄与する。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	1,700	
					H28予算額	1,700	
					H27当初予算額		
H27現計予算額							
増減額	1,700						
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	1,305						
従事職員数【人工】	0.10						
人件費(人工×8,000千円)	800						
総事業費:人件費含む(千円)	2,105						
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	整備率(%)						
活動指標の算式	設置済公園/未設置公園						
活動指標の実績(見込)	14	単位	%	単位	%		
単位当たりコスト (円)	150,357						
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 2.健康なまちづくりプロジェクト (1)“ウエルネスシティ”推進事業						

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	公園施設維持修繕事業					
所管課	163	公園課	(建設部)					
市内公園施設に於いて、老朽化や改修が必要な箇所、利用者が安心して利用できる施設整備を行うことにより、地域の活性化や安心安全なまちづくりを行う。					宇陀市一般会計予算			
					区分	No.	区分名	
					款	7	土木費	
					項	4	都市計画費	
					目	2	公園費	
細目	1	公園費						
根拠条例等	都市公園法に基づき宇陀市公園条例							
総合計画	基本計画 第1章 第5節 公園・緑地の整備							
H28年度事業の概要	施設維持修繕工事 ・室生不思議の森公園 1,700千円 ウッドデッキ解体撤去 A=100㎡ ・榛見いのたに公園 500千円 インターロッキング修繕工事 A=30㎡ ・公園維持修繕工事 500千円 公園補修工事 1式				財源の内訳 (単位:千円)			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	公園機能の保全を図り、利用者が安心して利用出来る。				分担金			
					使用料			
					国費			
					県費			
					市債	2,200		
					その他			
					一般財源	500		
					H28予算額	2,700		
					H27 当初予算額	3,500		
					H27 現計予算額	3,500		
					増減額	▲ 800		
事業のコスト	平成26年度(実績)		平成27年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	11,444		3,500		過疎対策事業債 2,200千円			
従事職員数【人工】	1.00		0.50					
人件費(人工×8,000千円)	8,000		4,000					
総事業費:人件費含む(千円)	19,444		7,500					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()								
活動指標名	整備公園数							
活動指標の算式	-							
活動指標の実績(見込)	6	単位	箇所	6	単位	箇所		
単位当たりコスト (円)	3,240,667		1,250,000		備考			
					<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (4)観光施設、観光資源の整備			

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	防災公園整備事業調査設計				
所管課	163	公園課	(建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	遊休市有地の有効活用を考慮し、災害時の避難場所等に活用出来る広場整備や市民の憩いの場としての活用、景観保全等の周辺整備を行うための測量設計業務を行う。				区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	2	公園費
細目	1	公園費					
根拠条例等	都市公園法に基づき宇陀市公園条例						
総合計画	基本計画 第1章 第5節 公園・緑地の整備						
H28年度事業の概要	事業実施に向けた測量設計業務を行い、将来の宇陀市発展に向け事業展開を行う。 ・計画場所 宇陀市榛原萩原地内(遊休市有地及び周辺) 約A=4.0ha				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	住宅地が多くある榛原地域と東榛原地域の中間に位置していることから、災害時における避難場所を兼ねた公園整備を行い、近隣住宅地の良好な住環境を整え、定住・移住を促進する。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債	11,400	
					その他		
					一般財源	600	
					H28予算額	12,000	
					H27当初予算額		
H27現計予算額							
増減額	12,000						
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)			合併特例債 11,400千円				
従事職員数【人工】			備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (15)防災公園整備事業調査設計事業				
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績(見込)		単位		単位			
単位当たりコスト (円)							

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	平成榛原子供のもり公園再生プロジェクト(地方創生)				
所管課	163	公園課	(建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	当公園は、21世紀を担う子供たちの健やかな成長を促すと共に、各世代間の交流の場として対話を生み、自然環境や社会性を育む場の提供を目的に開園したが、利用者が横ばい傾向にあるため、単なる維持管理だけではなく、集客効果のある様々な事業の展開を市民団体の活力を生かして公園の活性化を行う。				区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	2	公園費
細目	62	子供のもり公園費					
根拠条例等	都市公園法に基づき宇陀市公園条例						
総合計画	基本計画 第1章 第5節 公園・緑地の整備						
H28年度事業の概要	「子供のもり活性化協会」を中心に事業を企画運営し、市内外からの来場者を増やすことを目指す。 また、ゆうゆう祭り・カヌー教室・石窯教室などの事業に加え活性化協会会員による独自の催しも開催。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	今後の見通しとしては、子供のもり公園を幅広い年齢層に知ってもらい、来場いただくため現在よりも子供に限らない事業を検討する。 「子供のもり活性化協会」を中心に事業を企画運営し、市内外からの来場者増大を目指す。また、子供のもり活性化協会自身も新規会員を募り、より一層の事業の充実や幅広い内容で企画運営する。				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	648	
					H28予算額	648	
					H27当初予算額		
H27現計予算額							
増減額	648						
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)							
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
【活動指標の根拠】総合計画(行政評価)・ <u>総合戦略</u> ・その他()							
活動指標名					備考		
活動指標の算式							
活動指標の実績(見込)		単位		単位			
単位当たりコスト (円)							
<予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (4)観光施設、観光資源の整備							

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	萩原12号線道路改良事業				
所管課	161	まちづくり推進課 (建設部)	宇陀市一般会計予算				
事業の目的	市街地を中心により安全で暮らしよい道路網の整備を行うことで、歩行者や自転車通行者に配慮した道路整備を図る。		区分	No.	区分名		
			款	7	土木費		
			項	4	都市計画費		
			目	3	社会資本整備推進事業費		
細目	1	社会資本整備総合交付金事業費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備						
H28年度事業の概要	(千円)			財源の内訳 (単位:千円)			
	家屋調査業務	1件	5,000	分担金			
筆界調査	1件	5,000	使用料				
土地評価業務	1件	1,000	国費		61,100		
用地費	440㎡	31,000	県費				
補償費	1件	56,000	市債		35,000		
事務費		2,016	その他				
合計		100,016	一般財源		3,916		
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	密集市街地において、消防自動車等の緊急車両がスムーズに通行可能となり、地域住民の安心・安全な暮らしを確保する。 周辺商店等へのアクセス道路として整備することで、商業サービス環境の充実と賑わいの創出を図る。					H28予算額	100,016
						H27当初予算額	108,498
						H27現計予算額	108,498
						増減額	▲ 8,482
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	27,557		社会資本整備総合交付金 61,100千円 合併特例債 35,000千円				
従事職員数【人工】	1.50						
人件費(人工×8,000千円)	12,000						
総事業費:人件費含む(千円)	39,557						
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	進捗率						
活動指標の算式	各年度事業費/全体事業費						
活動指標の実績(見込)	8.0	単位	%		単位	%	
単位当たりコスト (円)	4,944,625						
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施						

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	榛原駅前複合施設整備事業																		
所管課	161	まちづくり推進課 (建設部)			宇陀市一般会計予算																
事業の目的	宇陀市の中心市街地である近鉄榛原駅周辺において、宇陀市総合計画に示された「まちの玄関としてふさわしい環境づくり」に則した賑わいのあるまちづくりの実現を目指し、具体的な拠点としての土地活用、都市空間リノベーションに資する。				区分 No.	区分名															
					款	7	土木費														
					項	4	都市計画費														
					目	3	社会資本整備推進事業費														
細目	2	リノベーション事業費																			
根拠条例等																					
総合計画	基本計画 第5章 第2節 商工業の活性化																				
H28年度事業の概要	(千円) <table border="1"> <tr> <td>事業用地取得</td> <td>1,200㎡</td> <td>120,000</td> </tr> <tr> <td>家屋補償</td> <td>1件</td> <td>18,000</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>1式</td> <td>13,560</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>1件</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>151,860</td> </tr> </table>				事業用地取得	1,200㎡	120,000	家屋補償	1件	18,000	委託料	1式	13,560	役務費	1件	300	合計		151,860	財源の内訳 (単位:千円)	
	事業用地取得	1,200㎡	120,000																		
家屋補償	1件	18,000																			
委託料	1式	13,560																			
役務費	1件	300																			
合計		151,860																			
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	榛原駅前において、複合施設の整備を行うことにより、賑わいの創出、地域商業の活性化、榛原駅を拠点にする人の増加を図る。				分担金																
					使用料																
					国費	70,500															
					県費																
					市債	69,800															
					その他																
					一般財源	11,560															
					H28予算額	151,860															
H27当初予算額																					
H27現計予算額																					
増減額	151,860																				
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)	特定財源の状況																		
決算額又は決算見込額(千円)			社会資本整備総合交付金 70,500千円 合併特例債 69,800千円																		
従事職員数【人工】																					
人件費(人工×8,000千円)																					
総事業費:人件費含む(千円)																					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()																					
活動指標名																					
活動指標の算式																					
活動指標の実績(見込)		単位		単位	備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [地域経済の活性化] (7)榛原駅前複合施設整備事業																
単位当たりコスト (円)																					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	市立病院周辺道路整備事業			
所管課	161	まちづくり推進課 (建設部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	奈良県東部地域の医療確保のため、宇陀市立病院へのアクセス道路を整備することにより、緊急車両の通行がスムーズになり、市民が安心して暮らせるまちづくりを目指す。			区分	No.	区分名
				款	7	土木費
				項	4	都市計画費
				目	3	社会資本整備推進事業費
細目	2	リノベーション事業費				
根拠条例等						
総合計画	基本計画 第3章 第2節 道路交通網の整備					
H28年度事業の概要	橋梁詳細設計 2橋			財源の内訳 (単位:千円)		
	市立病院周辺道路は、慢性的な渋滞が起きており、また、一部道路は狭隘であるため、車両の通行に支障をきたしている。本路線を改良することにより、国道からの進入がスムーズになり安心して暮らせる住環境づくりに繋がる。			分担金		
使用料						
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)				国費	15,000	
				県費		
				市債	14,200	
				その他		
				一般財源	1,100	
				H28予算額	30,300	
				H27当初予算額	7,000	
H27現計予算額	7,000					
増減額	23,300					
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	127			社会資本整備総合交付金 15,000千円 合併特例債 14,200千円		
従事職員数【人工】	0.10					
人件費(人工×8,000千円)	800					
総事業費:人件費含む(千円)	927					
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()						
活動指標名	進捗率					
活動指標の算式						
活動指標の実績(見込)	0.1	単位	%		単位	%
単位当たりコスト (円)	9,270,000					
備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [生活基盤の整備] (1)効果的な道路新設・改良と補修の実施					

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	宇陀松山活性化事業				
所管課	161	まちづくり推進課 (建設部)			宇陀市一般会計予算		
事業の目的	人口減少と高齢化、地場産業の停滞などにより、地域の活力が低下しており、経済社会情勢に対応した都市の再構築(リノベーション)が求められている。宇陀松山重要伝統的建造物群保存地区において、酒造りの製造・見学・体験ができる施設を整備し、土産物を販売できる観光酒蔵の整備を行い、地域の活性化、個性的で質の高いまちづくりを図る。				区分	No.	区分名
					款	7	土木費
					項	4	都市計画費
					目	3	社会資本整備推進事業費
細目	2	リノベーション事業費					
根拠条例等							
総合計画	基本計画 第5章 第4節 観光の振興						
H28年度事業の概要	観光酒蔵の実施設計				財源の内訳 (単位:千円)		
	重伝建地区を訪れる人だけでなく、多くの人々が立ち寄る道の駅「宇陀路大宇陀」の東側に、観光酒蔵を整備することで、松山地区の魅力を発信するとともに地域の活性化、観光客の増加に繋がる。				分担金		
使用料							
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)					国費	3,700	
					県費		
					市債		
					その他		
					一般財源	3,700	
					H28予算額	7,400	
					H27当初予算額	300	
					H27現計予算額	300	
増減額	7,100						
事業のコスト	平成26年度(実績)	平成27年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	2,970	/		社会資本整備総合交付金 3,700千円			
従事職員数【人工】	1.00						
人件費(人工×8,000千円)	8,000						
総事業費:人件費含む(千円)	10,970						
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()							
活動指標名	進捗率						
活動指標の算式	各年度事業費/全体事業費						
活動指標の実績(見込)	1.5	単位	%	単位	%	備考 <予算案のポイント> 【重点事業】 1.にぎわいづくり創造プロジェクト [観光振興 宇陀市の歴史的文化的資産の活用] (1)にぎわいづくり創造事業	
単位当たりコスト (円)	7,313,333						

平成 28 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	公営住宅等ストック総合改善事業							
所管課	182	公営住宅課	(建設部)		宇陀市一般会計予算					
事業の目的	市営住宅屋根改善工事(大宇陀・室生) 昭和56年～63年築(簡易耐火構造)の改良住宅で、スレート屋根の経年劣化により落下や雨漏りの恐れがあるため、改善工事を実施することにより、躯体部分の劣化を軽減し耐久性を向上させると共に、屋根の安全対策と住宅の長寿命化を図る。				区分 No.	区分名				
					款	7	土木費			
					項	5	住宅費			
					目	1	住宅管理費			
細目	1	本庁住宅管理費								
根拠条例等	宇陀市営住宅条例・宇陀市営改良住宅条例									
総合計画	基本計画 第3章 第1節 定住拠点の構築									
H28年度事業の概要	市営住宅屋根改善工事(大宇陀・室生) H28年度 第1団地(大宇陀)10棟20戸 屋根改善工事測量設計委託業務 1,500千円 屋根改善工事 78,000千円 事務費 956千円				財源の内訳 (単位:千円)					
					分担金					
事業の目標・成果 (これまでの成果、今後の見通し)	事業計画				使用料					
		団地名	棟	戸数	建築年度	年度(棟数)				
	改良	第7	10	20	S58	H28	H29	H30	国費	39,000
		梅ノ木	6	12	S58		10		県費	
		芝生1	2	4	S58		6		市債	42,100
		芝生2	2	4	S59		2		その他	
		協和	8	15	S59			2	一般財源	▲ 644
	旧地域改善向	第1	10	20	S56	10			H28予算額	80,456
		(西谷)	9	18	S60～63			9	H27当初予算額	5,753
	計		47	93		10	18	19	H27現計予算額	5,753
事業のコスト		平成26年度(実績)		平成27年度(見込)		特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)		3,924		4,113		地域住宅政策交付金 39,000千円 合併特例債 42,100千円				
従事職員数【人工】		0.20		0.20						
人件費(人工×8,000千円)		1,600		1,600						
総事業費:人件費含む(千円)		5,524		5,713						
【活動指標の根拠】 総合計画(行政評価)・総合戦略・その他()										
活動指標名		住宅改善戸数								
活動指標の算式		-								
活動指標の実績(見込)		6	単位	戸	6	単位	戸	備考		
単位当たりコスト (円)		920,667			952,167			<予算案のポイント> 【重点事業】 3.住みよい地域創造プロジェクト (9)公営住宅ストック総合改善事業		